



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 日本航空株式会社 上場取引所 東
コード番号 9201 URL <https://www.jal.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 赤坂 祐二
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 西澤 修英 TEL 03-5460-3121 (代表)
四半期報告書提出予定日 2023年11月1日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 財務・法人所得税前利益 | | 税引前四半期利益 (△は損失) | | 親会社の所有者に 帰属する四半期 利益(△は損失) | | 四半期包括利益 合計額 (△は損失) | |
|---------------|---------|-------|-------------|---|--------------------|---|---------------------------------|---|--------------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 820,938 | 32.7 | 91,235 | — | 89,095 | — | 61,671 | — | 82,107 | — |
| 2023年3月期第2四半期 | 618,522 | 112.8 | 220 | — | △2,996 | — | △2,158 | — | △16,927 | — |

| | 基本的1株当たり 四半期利益(△は損失) | 希薄化後1株当たり 四半期利益 |
|---------------|-------------------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 141.12 | — |
| 2023年3月期第2四半期 | △4.94 | — |

- (注) 1. 「財務・法人所得税前利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標として表示しております。「財務・法人所得税前利益」は、四半期利益から法人所得税費用、利息およびその他の財務収益・費用を除いたものです。
2. 2023年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に 帰属する持分 | 親会社所有者 帰属持分比率 | 1株当たり 親会社所有者帰属持分 |
|---------------|-----------|---------|--------------------|------------------|---------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 2,662,857 | 924,559 | 885,795 | 33.3 | 2,026.96 |
| 2023年3月期 | 2,520,603 | 856,957 | 816,288 | 32.4 | 1,867.91 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 25.00 | 25.00 |
| 2024年3月期 | — | 30.00 | — | — | — |
| 2024年3月期（予想） | — | — | — | 30.00 | 60.00 |

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
詳細については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）当期の配当について」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上収益 | | 財務・法人所得税前利益 | | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | |
|----|-----------|------|-------------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 1,684,000 | 22.4 | 130,000 | 101.4 | 80,000 | 132.4 |

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
詳細については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期2Q | 437,143,500株 | 2023年3月期 | 437,143,500株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期2Q | 136,322株 | 2023年3月期 | 136,291株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期2Q | 437,007,192株 | 2023年3月期2Q | 437,007,209株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

※ 当社は2023年10月31日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、同日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

※ 対前年同期比について、増減率が1,000%以上となる場合は「－」を記載しております。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 5 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 6 |
| (4) 当期の配当について | 6 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | 7 |
| (2) 要約四半期連結損益及びその他の包括利益計算書 | 9 |
| (3) 要約四半期連結持分変動計算書 | 11 |
| (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記 | 14 |
| (報告企業) | 14 |
| (作成の基礎) | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (売上収益) | 14 |
| (セグメント情報) | 17 |
| (企業結合に係る暫定的な会計処理の確定) | 18 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）（以下「当第2四半期」という。）における売上収益は8,209億円（前年同期比32.7%増加）、営業費用は7,366億円（前年同期比15.6%増加）となり、財務・法人所得税前利益（以下「EBIT」という。）は912億円（前年同期は2億円）、親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）は616億円（前年同期は△21億円）となりました。

連結業績は次のとおりです。

| 項目 | 前第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 前年同期比 (利益率はポ イント差) |
|----------------------------------|---|---|--------------------------|
| 売上収益 (億円) | 6,185 | 8,209 | 132.7% |
| FSC国際旅客収入 (億円) | 1,632 | 3,144 | 192.6% |
| FSC国内旅客収入 (億円) | 2,086 | 2,750 | 131.8% |
| FSC貨物郵便収入 (億円) | 1,262 | 669 | 53.0% |
| FSCその他収入 (億円) | 76 | 92 | 119.7% |
| LCC (億円) | 111 | 316 | 284.3% |
| マイル・ライフ・インフラ (億円) | 1,015 | 1,236 | 121.8% |
| 営業費用 (億円) | 6,374 | 7,366 | 115.6% |
| 航空燃油費 (億円) | 1,548 | 1,700 | 109.8% |
| 航空燃油費以外 (億円) | 4,825 | 5,666 | 117.4% |
| 財務・法人所得税前利益 (EBIT) (億円) | 2 | 912 | — |
| EBITマージン (%) | 0.0 | 11.1 | 11.1 |
| 親会社の所有者に帰属する四半期利益 (△は損失) (億円) | △21 | 616 | — |

(注) 1. 金額については切捨処理、比率については四捨五入処理しております。

2. FSCは、フルサービスキャリアを指します。

3. LCCは、連結子会社の株式会社ZIPAIR Tokyo(以下、ZIPAIR)およびスプリング・ジャパン株式会社(以下、スプリング・ジャパン)の旅客収入です。

4. 当社は、四半期利益から法人所得税費用、利息およびその他の財務収益・費用を除いた「財務・法人所得税前利益」をEBITと定義しております。

5. EBITマージン＝財務・法人所得税前利益 (EBIT) / 売上収益

6. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

当社グループに大きな影響を与えた新型コロナウイルスの感染拡大はようやく収束を迎えつつあります。国際線の水際対策が終了し、国内の行動制限もなくなり、各地でのさまざまなイベントや催しの再開に伴い航空旅客需要は順調に回復しております。一方で、円安、燃油高、物価高、人財不足、航空機部品等のサプライチェーンの混乱、不安定な世界情勢等、社会全体をとりまく環境は厳しさを増しております。燃油高、物価高については、レベニューマネジメント強化による単価の向上や、より一層のコスト削減により対応してまいります。人財不足については採用を積極的に進めるほか、航空業界を挙げて新たに「空港グランドハンドリング協会」を設立する等、不断の努力により、急速に回復する旅客需要に対応できる供給体制を整えるべく準備を進めております。

当社グループは、航空輸送のサステナビリティを確かなものにするために、大きく二つの経営課題に取り組んでいます。一つはカーボンニュートラルの実現、もう一つは人的資本経営です。

カーボンニュートラルの実現に向けては、6月にShell社の航空燃料部門であるShell Aviationと2025年から米国ロサンゼルス国際空港にてSAF (Sustainable Aviation Fuel) を調達する契約を締結しました。これにより

「2025年度に全燃料搭載量の1%をSAFに置き換える」という目標を達成できる見込みとなりました。また、同月に省燃費機材の円滑な導入のため、当社として2回目となるトランジションボンドを発行いたしました。さらに、年内にエアバスA350-1000型機を導入し、より環境に配慮したフライトをご提供します。当社グループのこのようなサステナビリティに関する取り組みやサービス品質等が世界最高水準と評価され、9月にはAPEX社（Airline Passenger Experience Association）「WORLD CLASS」を3年連続で受賞しました。今後も「2030年度に全燃料搭載量の10%をSAFに置き換える」という目標達成のため重要となる国内におけるSAF商用化および普及・拡大に向け、ご関係の皆さまと横断的に協力して取り組んでまいります。

人的資本経営については、現在当社グループの人員数はコロナ前と同水準を確保しているものの、今後の人財不足に鑑み、4月には3年ぶりに約2,000名の新入社員を迎え、キャリア採用、インターンシップの募集も開始しました。また、デジタルや新技術を活用し、少ない人数でも同じアウトプットを実現できるよう社員へのDX教育を実施する等、生産性向上を進めております。今年度は4年ぶりに大幅なベースアップも実施しており、当社グループは今後、人財を資本ととらえて企業価値向上につながる人的資本経営を推進してまいります。

以下、当第2四半期における当社グループの経営状況につき、事業領域ごとの状況を概括します。

フルサービスキャリア事業領域

国際旅客では、日本における水際対策が終了、自由な往来が再開し、コロナ前を上回る事業規模への成長に向けた準備が整っております。旅客数は、特に好調なインバウンドが寄与し、コロナ前の約67%まで回復しております。インバウンドに比べ回復の遅れていた日本発の需要も、コロナの5類変更も後押しし、徐々に戻っており、今後も着実な回復が見込まれます。また、2024年度夏期ダイヤより欧州・アフリカ・南米方面への新たなゲートウェイとして羽田＝ドーハ線の新規就航を決定しました。さらに、エアバスA350-1000型機の導入により、脱炭素の推進に加え、自由で贅沢な過ごし方を体験できるやすらぎの空間をご提供し商品サービスの強化も進めてまいります。

国内旅客では、行動制限がなくなり、以前のような社会経済活動が再開したことで、すでにコロナ前同水準の供給体制でお客さまをお迎えしております。運賃をシンプルな体系へ移行したことで、お客さまの利便性向上と単価向上を両立できております。2023年度冬期ダイヤより、株式会社北海道エアシステムが札幌丘珠＝根室中標津線に新規就航しており、医療・防災を支える札幌市と中標津町をはじめとした根室エリアのつながりを強化することにより地域社会の発展に貢献してまいります。

貨物事業では、グローバルでの需給逼迫は解消しましたが、高い輸送品質を基盤に医薬品等の高付加価値貨物の輸送に注力するとともに、自社および他社供給を活用し、アジア＝北米間の貨物を中心に物量の最大化に努めた結果、コロナ前を上回る収入規模を維持しております。

LCC事業領域

国際線中長距離LCCであるZIPAIRは6月よりサンフランシスコ線、7月からはマニラ線に新規就航し、就航地点は北米・アジアを中心に8地点まで拡大し、順調に利益を積み重ねております。7月からはスプリング・ジャパン、ジェットスター・ジャパン株式会社（以下、ジェットスター・ジャパン）の国内線スケジュールをJAL Webサイトでも照会できるようになり、ご予約の利便性を向上させております。今後も特徴の異なるLCC3社による成田空港をハブとしたネットワーク構築に努め、若年層やファミリー層等、新たな人流の創出を目指してまいります。

マイル・ライフ・インフラ事業領域

オンラインショッピングモール（JAL Mall）を開設し、株式会社JALUX（以下、JALUX）とのシナジーにより特別感のある商品を展開、また混雑する時期でもマイルで予約できる「特典航空券PLUS」のご利用も増えており、マイルのためやすさ・つかいやすさ向上に取り組んでおります。9月からは加入するとマイルがたまる「JALの保険」の販売を開始、そのほかにもビジネスコンテストを開催し新たなパートナーとの事業創出を目指しております。非航空事業領域では、今後も人やモノのつながりを創造し、新たな収益源にするとともに、つながりを新たな航空需要に結びつけ、航空事業の収益拡大につなげてまいります。

これらの事業を通じて全社的なESG戦略を推進し、中長期的な成長に向け、全社員一丸となって進んでまいります。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

<航空運送事業セグメント>

当第2四半期における航空運送事業セグメントの経営成績については、売上収益は7,529億円（前年同期比32.1%増加）、投資・財務・法人所得税前利益（△は損失）（以下「セグメント利益（△は損失）」という。）は842億円（前年同期は△98億円）となりました。（売上収益およびセグメント利益（△は損失）はセグメント間連結消去前数値です。）

輸送実績（フルサービスキャリア）は、次のとおりです。

| 項目 | 前第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 対前年同期比 (利用率は ポイント差) |
|--------------------|---|---|---------------------------|
| 国際線 | | | |
| 有償旅客数 (人) | 1,742,288 | 3,294,389 | 189.1% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 11,574,448 | 18,817,497 | 162.6% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 16,402,425 | 23,738,465 | 144.7% |
| 有償座席利用率 (%) | 70.6 | 79.3 | 8.7 |
| 有償貨物トン・キロ (千トン・キロ) | 1,446,389 | 1,271,433 | 87.9% |
| 郵便トン・キロ (千トン・キロ) | 59,437 | 51,109 | 86.0% |
| 国内線 | | | |
| 有償旅客数 (人) | 13,717,994 | 17,526,682 | 127.8% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 10,554,164 | 13,302,240 | 126.0% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 17,455,313 | 17,640,229 | 101.1% |
| 有償座席利用率 (%) | 60.5 | 75.4 | 14.9 |
| 有償貨物トン・キロ (千トン・キロ) | 133,178 | 140,119 | 105.2% |
| 郵便トン・キロ (千トン・キロ) | 10,855 | 10,738 | 98.9% |
| 合計 | | | |
| 有償旅客数 (人) | 15,460,282 | 20,821,071 | 134.7% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 22,128,613 | 32,119,738 | 145.2% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 33,857,739 | 41,378,694 | 122.2% |
| 有償座席利用率 (%) | 65.4 | 77.6 | 12.3 |
| 有償貨物トン・キロ (千トン・キロ) | 1,579,568 | 1,411,553 | 89.4% |
| 郵便トン・キロ (千トン・キロ) | 70,293 | 61,847 | 88.0% |

輸送実績（LCC）は、次のとおりです。

| 項目 | 前第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 対前年同期比 (利用率は ポイント差) |
|----------------|---|---|---------------------------|
| ZIPAIR | | | |
| 有償旅客数 (人) | 162,785 | 541,959 | 332.9% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 841,844 | 2,990,836 | 355.3% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 2,155,023 | 3,765,864 | 174.7% |
| 有償座席利用率 (%) | 39.1 | 79.4 | 40.4 |
| スプリング・ジャパン | | | |
| 有償旅客数 (人) | 208,406 | 390,668 | 187.5% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 173,921 | 400,097 | 230.0% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 325,543 | 553,798 | 170.1% |
| 有償座席利用率 (%) | 53.4 | 72.2 | 18.8 |

- (注) 1. 旅客キロは、各区分有償旅客数（人）に当該区分距離（キロ）を乗じたものであり、座席キロは、各区分有効座席数（席）に当該区分距離（キロ）を乗じたものです。輸送量（トン・キロ）は、各区分輸送量（トン）に当該区分距離（キロ）を乗じたものです。
2. 区分距離は、IATA（国際航空運送協会）、ICAO（国際民間航空機関）の統計資料に準じた算出基準の大圏距離方式で算出しております。
3. フルサービスキャリア（国際線）：日本航空（株）、日本トランスオーシャン航空（株）
フルサービスキャリア（国内線）：日本航空（株）、（株）ジェイエア、
日本エアコミューター（株）、（株）北海道エアシステム、
日本トランスオーシャン航空（株）、琉球エアークミューター（株）
- ただし、前年同期は、
フルサービスキャリア（国際線）：日本航空（株）
フルサービスキャリア（国内線）：日本航空（株）、（株）ジェイエア、
日本エアコミューター（株）、（株）北海道エアシステム、
日本トランスオーシャン航空（株）、琉球エアークミューター（株）
4. スプリング・ジャパンの輸送実績には国際線および国内線の合計を記載しております。
5. 数字については四捨処理、比率については四捨五入処理しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、資本の状況)

当第2四半期末の総資産は、主に現金及び現金同等物の増加により、前連結会計年度末に比べ1,422億円増加し、2兆6,628億円となりました。

負債は、主に契約負債の増加により、前連結会計年度末に比べ746億円増加し、1兆7,382億円となりました。

資本は、配当金の支払いで減少したものの、主に親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により、前連結会計年度末に比べ、676億円増加し、9,245億円となりました。

手元流動性については、当第2四半期末時点で7,435億円の現金及び現金同等物を保有していることに加え、未使用のコミットメントライン1,500億円を確保しております。なお、コミットメントラインについてはコロナ禍で増額しておりましたが、業績およびキャッシュ・フロー状況の改善を踏まえ6月30日に減額しております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,043億円増加し、7,435億円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期利益890億円の減価償却費等の非資金項目および営業活動に係る債権・債務の加減算等を行った結果、営業活動によるキャッシュ・フロー（インフロー）は2,134億円（前年同期は1,202億円のキャッシュ・インフロー）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出を主因として、投資活動によるキャッシュ・フロー（アウトフロー）は△824億円（前年同期は△525億円のキャッシュ・アウトフロー）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出および配当金の支払を主因として、財務活動によるキャッシュ・フロー（アウトフロー）は△344億円（前年同期は△266億円のキャッシュ・アウトフロー）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期連結業績予想については、本日時点における航空需要の動向等を踏まえ、2023年5月2日に公表した通期連結業績予想から下表の通り修正いたします。

2024年3月期通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

| | 売上収益 | 財務・法人所得税前利益 (EBIT) | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 |
|---------------------------|-----------|-----------------------|----------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表通期予想 (A) | 1,658,000 | 100,000 | 55,000 |
| 今回発表通期予想 (B) | 1,684,000 | 130,000 | 80,000 |
| 増減額 (B-A) | 26,000 | 30,000 | 25,000 |
| 増減率 (%) | 1.6 | 30.0 | 45.5 |
| (参考) 前期連結実績 (2023年3月期) | 1,375,589 | 64,563 | 34,423 |

国際旅客は好調な海外発需要に加え、日本発需要も回復基調にあり、国内旅客は観光需要を中心にすでにコロナ前同水準の旅客数まで回復するなど、旅客需要は当社の期初時点の想定を上回って推移しております。一方、営業費用は、上期実績に加えて、円安、燃油高、物価高の中でも費用削減の取り組みを継続することで、期初時点の想定を下回る見込みです。

そのため、2024年3月期通期連結業績予想について、売上収益1兆6,840億円、EBIT1,300億円、親会社の所有者に帰属する当期利益800億円にそれぞれ上方修正いたします。

今年度も残り半年となりましたが、さらなる収支改善に向けて最大限の努力を継続してまいります。

なお、算出にあたり、当第3四半期以降における米ドル円為替レートは145円、航空燃油費の指標であるシンガポール・ケロシンの市場価格を1バレルあたり120米ドルに変更しております。

（4）当期の配当について

当社は、株主の皆さまへの還元を経営の最重要事項のひとつとしてとらえており、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保を確保しつつ、継続的・安定的な配当に加え、自己株式の取得を柔軟に行うことで、株主の皆さまへの還元を積極的に行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、上記の通期連結業績予想の修正を踏まえて、年間配当金予想を1株当たり60円に修正いたします。このうち、2023年9月30日を基準日とする中間配当金につきましては、1株当たり30円とすることを本日開催の取締役会にて決議いたしました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|----------------------------------|
| | 百万円 | 百万円 |
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 639,247 | 743,580 |
| 営業債権及びその他の債権 | 174,906 | 172,591 |
| その他の金融資産 | 11,202 | 21,547 |
| 棚卸資産 | 36,747 | 40,704 |
| その他の流動資産 | 60,776 | 79,111 |
| 流動資産合計 | 922,880 | 1,057,536 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 航空機 | 839,205 | 826,345 |
| 航空機建設仮勘定 | 102,431 | 149,567 |
| その他の有形固定資産 | 86,158 | 82,750 |
| 有形固定資産合計 | 1,027,795 | 1,058,662 |
| のれん及び無形資産 | 83,310 | 82,372 |
| 投資不動産 | 3,296 | 3,459 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 20,200 | 22,415 |
| その他の金融資産 | 158,638 | 166,958 |
| 繰延税金資産 | 278,655 | 246,098 |
| 退職給付に係る資産 | 8,522 | 8,721 |
| その他の非流動資産 | 17,303 | 16,632 |
| 非流動資産合計 | 1,597,722 | 1,605,321 |
| 資産合計 | 2,520,603 | 2,662,857 |

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日) |
|-------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
| | 百万円 | 百万円 |
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 136,138 | 151,770 |
| 有利子負債 | 111,968 | 119,511 |
| その他の金融負債 | 58,749 | 44,893 |
| 未払法人所得税 | 2,642 | 1,611 |
| 契約負債 | 316,873 | 362,002 |
| 引当金 | 2,737 | 2,639 |
| その他の流動負債 | 40,467 | 38,318 |
| 流動負債合計 | 669,578 | 720,746 |
| 非流動負債 | | |
| 有利子負債 | 813,535 | 801,651 |
| その他の金融負債 | 9,331 | 42,062 |
| 繰延税金負債 | 3,505 | 3,788 |
| 引当金 | 23,908 | 25,382 |
| 退職給付に係る負債 | 132,355 | 133,126 |
| その他の非流動負債 | 11,430 | 11,541 |
| 非流動負債合計 | 994,067 | 1,017,551 |
| 負債合計 | 1,663,645 | 1,738,298 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 273,200 | 273,200 |
| 資本剰余金 | 273,631 | 273,890 |
| 利益剰余金 | 225,644 | 276,350 |
| 自己株式 | △408 | △408 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産 | 38,384 | 41,831 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分 | 4,812 | 19,336 |
| 在外営業活動体の外貨換算差額 | 1,024 | 1,595 |
| その他の包括利益累計額合計 | 44,220 | 62,763 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 816,288 | 885,795 |
| 非支配持分 | 40,669 | 38,763 |
| 資本合計 | 856,957 | 924,559 |
| 負債及び資本合計 | 2,520,603 | 2,662,857 |

（2）要約四半期連結損益及びその他の包括利益計算書

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|---------------------------|---|---|
| | 百万円 | 百万円 |
| 売上収益 | | |
| 国際線旅客収入 | 172,695 | 343,437 |
| 国内線旅客収入 | 210,373 | 277,700 |
| その他の売上収益 | 235,452 | 199,799 |
| 売上収益合計 | 618,522 | 820,938 |
| その他の収入 | 14,763 | 4,139 |
| 営業費用 | | |
| 人件費 | △139,224 | △157,771 |
| 航空燃油費 | △154,838 | △170,035 |
| 減価償却費、償却費及び減損損失 | △83,245 | △75,197 |
| その他の営業費用 | △260,098 | △333,686 |
| 営業費用合計 | △637,406 | △736,689 |
| 営業利益（△は損失） | △4,120 | 88,387 |
| 持分法による投資損益（△は損失） | △245 | △462 |
| 投資・財務・法人所得税前利益（△は損失） | △4,366 | 87,925 |
| 投資から生じる収益・費用 | | |
| 投資収益 | 4,652 | 3,310 |
| 投資費用 | △65 | △0 |
| 財務・法人所得税前利益 | 220 | 91,235 |
| 財務収益・費用 | | |
| 財務収益 | 4,259 | 5,711 |
| 財務費用 | △7,476 | △7,851 |
| 税引前四半期利益（△は損失） | △2,996 | 89,095 |
| 法人所得税費用 | 67 | △26,951 |
| 四半期利益（△は損失） | △2,928 | 62,143 |
| 四半期利益（△は損失）の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | △2,158 | 61,671 |
| 非支配持分 | △769 | 471 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 2,041 | 3,778 |
| 持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分 | △50 | 120 |
| 純損益に振り替えられることのない項目合計 | 1,991 | 3,899 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分 | △17,316 | 15,298 |
| 在外営業活動体の外貨換算差額 | 1,252 | 671 |
| 持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分 | 72 | 95 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目合計 | △15,991 | 16,064 |
| 税引後その他の包括利益 | △13,999 | 19,964 |
| 四半期包括利益 | △16,927 | 82,107 |

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------------|---|---|
| | 百万円 | 百万円 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | △17,454 | 80,486 |
| 非支配持分 | 526 | 1,620 |
| 1株当たり四半期利益 | | |
| 基本的1株当たり四半期利益（△は損失）（円） | △4.94 | 141.12 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益（円） | — | — |

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

親会社の所有者に帰属する持分

| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の包括利益累計額 | |
|-----------------|---------|---------|---------|------|---------------------------|--------------------|
| | | | | | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年4月1日時点の残高 | 273,200 | 273,617 | 176,406 | △408 | 35,512 | 41,018 |
| 四半期利益（△は損失） | — | — | △2,158 | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | 1,726 | △17,991 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | △2,158 | — | 1,726 | △17,991 |
| 配当金 | — | — | — | — | — | — |
| ヘッジ対象の非金融資産への振替 | — | — | — | — | — | △1,425 |
| 子会社の支配獲得に伴う変動 | — | — | — | — | — | — |
| 子会社の支配喪失に伴う変動 | — | — | — | — | — | — |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | — | 14 | — | — | — | — |
| 利益剰余金への振替 | — | — | △39 | — | 39 | — |
| 所有者との取引等合計 | — | 14 | △39 | — | 39 | △1,425 |
| 2022年9月30日時点の残高 | 273,200 | 273,631 | 174,207 | △408 | 37,278 | 21,602 |

親会社の所有者に帰属する持分

| | その他の包括利益累計額 | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
|-----------------|----------------|---------|---------|--------|---------|
| | 在外営業活動体の外貨換算差額 | 合計 | | | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年4月1日時点の残高 | 390 | 76,921 | 799,736 | 46,330 | 846,067 |
| 四半期利益（△は損失） | — | — | △2,158 | △769 | △2,928 |
| その他の包括利益 | 968 | △15,296 | △15,296 | 1,296 | △13,999 |
| 四半期包括利益合計 | 968 | △15,296 | △17,454 | 526 | △16,927 |
| 配当金 | — | — | — | △2,627 | △2,627 |
| ヘッジ対象の非金融資産への振替 | — | △1,425 | △1,425 | △595 | △2,020 |
| 子会社の支配獲得に伴う変動 | — | — | — | △2,653 | △2,653 |
| 子会社の支配喪失に伴う変動 | — | — | — | △44 | △44 |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | — | — | 14 | △14 | — |
| 利益剰余金への振替 | — | 39 | — | — | — |
| 所有者との取引等合計 | — | △1,385 | △1,411 | △5,934 | △7,345 |
| 2022年9月30日時点の残高 | 1,358 | 60,239 | 780,870 | 40,922 | 821,793 |

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | その他の包括利益累計額 | |
|-----------------|----------------|---------|---------|------|---------------------------|--------------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年4月1日時点の残高 | 273,200 | 273,631 | 225,644 | △408 | 38,384 | 4,812 |
| 四半期利益 (△は損失) | — | — | 61,671 | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | 3,406 | 14,836 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | 61,671 | — | 3,406 | 14,836 |
| 配当金 | — | — | △10,925 | — | — | — |
| 株式に基づく報酬 | — | 246 | — | — | — | — |
| ヘッジ対象の非金融資産への振替 | — | — | — | — | — | △313 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △0 | — | — |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | — | 12 | — | — | — | — |
| 利益剰余金への振替 | — | — | △40 | — | 40 | — |
| 所有者との取引等合計 | — | 258 | △10,965 | △0 | 40 | △313 |
| 2023年9月30日時点の残高 | 273,200 | 273,890 | 276,350 | △408 | 41,831 | 19,336 |

親会社の所有者に帰属する持分

| | その他の包括利益累計額 | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
|-----------------|----------------|--------|---------|--------|---------|
| | 在外営業活動体の外貨換算差額 | 合計 | | | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年4月1日時点の残高 | 1,024 | 44,220 | 816,288 | 40,669 | 856,957 |
| 四半期利益 (△は損失) | — | — | 61,671 | 471 | 62,143 |
| その他の包括利益 | 571 | 18,815 | 18,815 | 1,148 | 19,964 |
| 四半期包括利益合計 | 571 | 18,815 | 80,486 | 1,620 | 82,107 |
| 配当金 | — | — | △10,925 | △3,065 | △13,991 |
| 株式に基づく報酬 | — | — | 246 | — | 246 |
| ヘッジ対象の非金融資産への振替 | — | △313 | △313 | △369 | △682 |
| 自己株式の取得 | — | — | △0 | — | △0 |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | — | — | 12 | △91 | △78 |
| 利益剰余金への振替 | — | 40 | — | — | — |
| 所有者との取引等合計 | — | △272 | △10,979 | △3,526 | △14,506 |
| 2023年9月30日時点の残高 | 1,595 | 62,763 | 885,795 | 38,763 | 924,559 |

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| | 百万円 | 百万円 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期利益 (△は損失) | △2,996 | 89,095 |
| 減価償却費、償却費及び減損損失 | 83,245 | 75,197 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | △2,270 | 160 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 1,148 | 762 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,471 | △2,210 |
| 支払利息 | 6,334 | 6,775 |
| 為替差損益 (△は益) | △4,397 | △5,016 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 245 | 462 |
| 営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加) | △38,643 | △2,161 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △5,075 | △3,760 |
| 営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少) | 38,135 | 15,113 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 53,376 | 44,934 |
| その他 | △1,932 | △6,451 |
| 小計 | 124,699 | 212,901 |
| 法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払) | △4,436 | 502 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 120,263 | 213,403 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △56,704 | △85,141 |
| 固定資産の売却による収入 | 3,944 | 1,650 |
| その他の金融資産の取得による支出 | △0 | △226 |
| 子会社の支配獲得による支出 | △3,087 | — |
| 貸付けによる支出 | △1,341 | △2,822 |
| 貸付金の回収による収入 | 366 | 562 |
| 利息の受取額 | 199 | 741 |
| 配当金の受取額 | 2,441 | 1,756 |
| その他 | 1,674 | 1,022 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △52,506 | △82,456 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 10,291 | 7,283 |
| 長期借入れによる収入 | 2,300 | 3,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △18,084 | △33,526 |
| 社債の発行による収入 | — | 19,880 |
| 利息の支払額 | △5,043 | △5,504 |
| 配当金の支払額 | △1 | △10,854 |
| 非支配持分への配当金の支払額 | △2,723 | △3,065 |
| リース負債の返済による支出 | △12,473 | △10,843 |
| その他 | △928 | △778 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △26,663 | △34,409 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7,678 | 7,795 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 48,771 | 104,332 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 494,226 | 639,247 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 542,998 | 743,580 |

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記

(報告企業)

日本航空株式会社（以下「当社」という。）は日本に所在する株式会社です。その登記されている本社の住所は、東京都品川区東品川二丁目4番11号です。2023年9月30日に終了する6カ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社およびその子会社（以下「当社グループ」という。）、ならびに当社の関連会社および共同支配企業に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容は、主に航空運送事業です。各事業の内容については（売上収益）に記載しております。

(作成の基礎)

1. IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

2. 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切捨てて表示しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(売上収益)

1. 売上収益の分解

売上収益とセグメント収益の関連

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

| | セグメント | | | | |
|----------------|---------|--------|---------|---------|---------|
| | 航空運送事業 | その他 | 計 | 内部取引調整 | 合計 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 国際線（FSC） | | | | | |
| 旅客収入 | 163,265 | — | 163,265 | — | — |
| 貨物郵便収入 | 114,686 | — | 114,686 | — | — |
| 手荷物収入 | 895 | — | 895 | — | — |
| 小計 | 278,848 | — | 278,848 | — | — |
| 国内線（FSC） | | | | | |
| 旅客収入 | 208,684 | — | 208,684 | — | — |
| 貨物郵便収入 | 11,564 | — | 11,564 | — | — |
| 手荷物収入 | 193 | — | 193 | — | — |
| 小計 | 220,443 | — | 220,443 | — | — |
| 国際線・国内線（FSC）合計 | 499,291 | — | 499,291 | — | — |
| 旅客収入（LCC） | 11,118 | — | 11,118 | — | — |
| 旅行収入 | — | 45,531 | 45,531 | — | — |
| その他 | 59,649 | 45,784 | 105,433 | — | — |
| 合計 | 570,059 | 91,315 | 661,374 | △42,852 | 618,522 |

(注) 1. セグメントの金額はセグメント間連結消去前の金額です。

2. FSCは、フルサービスキャリアを指します。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

| | セグメント | | | | |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 航空運送事業 | その他 | 計 | 内部取引調整 | 合計 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 国際線 (FSC) | | | | | |
| 旅客収入 | 314,444 | — | 314,444 | — | — |
| 貨物郵便収入 | 55,323 | — | 55,323 | — | — |
| 手荷物収入 | 825 | — | 825 | — | — |
| 小計 | 370,593 | — | 370,593 | — | — |
| 国内線 (FSC) | | | | | |
| 旅客収入 | 275,182 | — | 275,182 | — | — |
| 貨物郵便収入 | 11,584 | — | 11,584 | — | — |
| 手荷物収入 | 239 | — | 239 | — | — |
| 小計 | 287,006 | — | 287,006 | — | — |
| 国際線・国内線 (FSC) 合計 | 657,600 | — | 657,600 | — | — |
| 旅客収入 (LCC) | 31,614 | — | 31,614 | — | — |
| 旅行収入 | — | 64,750 | 64,750 | — | — |
| その他 | 63,734 | 55,324 | 119,059 | — | — |
| 合計 | 752,949 | 120,075 | 873,024 | △52,086 | 820,938 |

(注) 1. セグメントの金額はセグメント間連結消去前の金額です。

2. FSCはフルサービスキャリアを指します。

当社グループは、国際線および国内線に関する旅客・貨物・郵便および手荷物の輸送業務を中心とした「航空運送事業」および「その他」を営んでおります。

これらの事業から生じる収益は主として顧客との契約に従い計上しており、約束した対価の金額に重要な金融要素は含まれておりません。また、顧客との契約からの対価の中に、取引価格に含まれていないものはありません。

なお、当社グループは会員顧客向けのマイレージプログラム「JALマイレージバンク」を運営しており、旅客輸送サービス等の利用に応じて付与するマイレージは、将来当社グループおよび提携他社によるサービスを受けるために利用することができます。付与したマイレージ分を履行義務として認識し、契約負債に計上しております。取引価格は、サービスの利用割合や失効見込み分を考慮した上で、独立販売価格の比率に基づいて各履行義務に配分しております。マイレージプログラムの履行義務に配分された取引価格は要約四半期連結財政状態計算書の「契約負債」として繰延べ、マイレージの利用に従い収益を認識しております。

航空運送事業

航空運送事業セグメントにおいては、国際線および国内線の航空機による「旅客」、「貨物郵便」、「手荷物」の輸送に関連するサービス等を提供しており、主な収益を下記の履行義務の充足時に認識しております。

旅客収入

主に航空機による旅客輸送サービスから得られる収入であり、当社グループは運送約款等に基づき、顧客に対して国際線および国内線の航空輸送サービスの提供を行う義務を負っております。当該履行義務は旅客の航空輸送役務の完了をもって充足されます。販売に当たっては、売上値引きの実施や販売実績に応じた割戻の支払いを行うことがあるため、取引の対価には変動が生じる可能性があります。また取引の対価は、通常、履行義務の充足前の一定時点に前もって受領しております。

貨物郵便収入

主に航空貨物および航空郵便の輸送業務により得られる収入であり、当社グループは国際線および国内線に係る貨物および郵便の輸送サービスを行う義務を負っております。当該履行義務は貨物および郵便の航空輸送役務の完了をもって充足されます。なお、売上収益に含まれる変動対価の額に重要性はありません。また取引の対価は、通常、貨物および郵便の航空輸送役務の完了後、主として2カ月以内に受領しております。

手荷物収入

主に航空機による旅客輸送に付随して行う手荷物輸送サービスから得られる収入であり、当社グループは顧客に対して国際線および国内線手荷物の航空輸送サービスの提供を行う義務を負っております。当該履行義務は手荷物の航空輸送役務の完了をもって充足されます。なお、売上収益に含まれる変動対価の額に重要性はありません。また取引の対価は、通常、手荷物輸送当日において受領しております。

その他

主に、特典航空券を除くマイレージの特典サービスや航空運送に係る業務受託サービスから得られる収入であり、当該履行義務はサービスの完了をもって充足されます。

その他

その他の事業においては、航空輸送を利用した旅行の自社による企画販売や、卸売および小売等を通じた商品の販売、クレジットカード事業等を行っております。

旅行の企画販売やクレジットカード事業に係る収益は主に、サービスの提供に伴い一定期間にわたって認識しております。これらの取引の対価は主に、履行義務の充足前の一定時点に前もって受領しております。また、商品の販売に係る収益は当該商品の引渡時点や顧客による検収完了時点で認識しており、取引の対価は主に履行義務の充足以後の一定時点に受領しております。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主として国際線および国内線の定期および不定期航空運送事業を行っております。したがって、当社グループは、「航空運送事業」を報告セグメントとしております。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益および業績は次のとおりです。

なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

| | 報告セグメント | その他 | 計 | 調整額 (注) 2 | 連結 (注) 3 |
|--------------------------|---------|--------|---------|--------------|-------------|
| | 航空運送事業 | (注) 1 | | | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 売上収益 | | | | | |
| 外部収益 | 541,038 | 77,484 | 618,522 | — | 618,522 |
| セグメント間収益 | 29,021 | 13,830 | 42,852 | △42,852 | — |
| 合計 | 570,059 | 91,315 | 661,374 | △42,852 | 618,522 |
| 投資・財務・法人所得税前利益 (△は損失) | △9,889 | 5,456 | △4,433 | 67 | △4,366 |
| 投資収益 | — | — | — | — | 4,652 |
| 投資費用 | — | — | — | — | △65 |
| 財務収益 | — | — | — | — | 4,259 |
| 財務費用 | — | — | — | — | △7,476 |
| 税引前四半期利益 (△は損失) | — | — | — | — | △2,996 |

(注) 1. その他には、旅行企画販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益及びその他の包括利益計算書の投資・財務・法人所得税前利益 (△は損失) と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

| | 報告セグメント | その他 | 計 | 調整額 (注) 2 | 連結 (注) 3 |
|--------------------------|---------|---------|---------|--------------|-------------|
| | 航空運送事業 | (注) 1 | | | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 売上収益 | | | | | |
| 外部収益 | 715,697 | 105,240 | 820,938 | — | 820,938 |
| セグメント間収益 | 37,252 | 14,834 | 52,086 | △52,086 | — |
| 合計 | 752,949 | 120,075 | 873,024 | △52,086 | 820,938 |
| 投資・財務・法人所得税前利益 (△は損失) | 84,261 | 3,786 | 88,048 | △122 | 87,925 |
| 投資収益 | — | — | — | — | 3,310 |
| 投資費用 | — | — | — | — | △0 |
| 財務収益 | — | — | — | — | 5,711 |
| 財務費用 | — | — | — | — | △7,851 |
| 税引前四半期利益 (△は損失) | — | — | — | — | 89,095 |

(注) 1. その他には、旅行企画販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益及びその他の包括利益計算書の投資・財務・法人所得税前利益 (△は損失) と調整を行っております。

（企業結合に係る暫定的な会計処理の確定）

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間に関連する要約四半期連結財務諸表は、暫定的な会計処理の確定による内容を反映させた金額としております。